

はる か

ha ru ka

VOL.25
2010.4

特集1／性差医療～女性のからだところを診て～

特集2／言葉と人間関係～アイ（I）メッセージで伝える～

- ・トピックス DVセミナーを開催しました
- ・なんでだろう？コーナー
- ・主な相談窓口

プランを改定します

平成23年度	平成22年度	平成20年	平成18年	平成15年	平成14年	平成9年	平成8年	平成4年	平成2年	昭和62年	昭和58年
かすがい男女共同参画プラン改定(第6次)	市民意識調査	かすがい男女共同参画プラン改定版(第5次)	市民意識調査	春日井市男女共同参画推進条例	かすがい男女共同参画プラン(第4次)	第3回「女性の生活と意識に関する実態調査」	かすがい女性プラン21(第3次)	かすがい女性プラン21(第2次)	第2回「女性の生活と意識に関する調査」	かすがい女性計画(第1次)	第1回「婦人の生活と意識に関する調査」

● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
あ ゆ み



特集 1

Haruka

性差医療～女性のからだところを診て～

“のぼせ、冷え、めまい、耳鳴り、肩こり、頭痛…” 様々なつらい症状が襲い、時には、日常生活も満足にできなくなってしまう。検査をしても特に異常はなし！原因不明・更年期と診断され、治療方針が示されなかったり、薬が処方されなかったり、男性の医師の診察に不満を感じたり…。苦しさや不安に耐えた経験をされた方は少なくないと思います。

今回は、男性との性差に配慮した「性差医療」に着目しました。

「性差医療」って？

「性差医療」とは、男女どちらかにかたよってみられる病気（例えば痛風は男性に、膠原病は女性に多い）や発症率はほぼ同じでも男女間で病状や発症時期に差があるもの（例えば狭心症）、薬の効きかたに違いがあることについて研究をすすめ、その結果を病気の診断、治療、予防へ反映することを目的にした医療です。

なぜ女性外来？

診察する医師の多くが男性で相談しにくい、女性特有の悩みを理解してくれない、あるいは話せる雰囲気でないという女性に優しい医療に対する不満がありました。そこで登場したのが「女性外来」です。

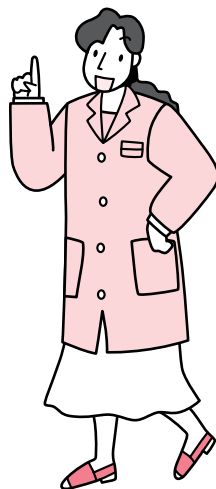
女性外来はどんなところ？

診療方法や仕組み、費用は各医療機関によって異なりますが、「女性外来」に共通するのは次の点です。

① 女性医師が担当

② 診療にゆっくり時間をかける

③ プライバシーに配慮



参考文献 天野恵子監修「よくわかる女性のからだ事典」ほか

春日井市民病院の場合

春日井市民病院でも、女性が気軽に相談できるよう、内科の女性医師がからだところの問題に対して、十分な問診を行い診療を行う「女性専用外来」を開設しています。

どのような体制になっているのか、詳しく見てみましょう。

受診の流れ（完全予約制）

初診の確認

初めてかどうかを確認。
基本的に再診はお断りします。

年齢の確認

高校生（中学卒業）以上かどうか。それ以下の場合は、医師に確認します。

予約の受付

医療事務の担当者が、症状を聞き取り、医師に伝えます。

初診

総合的な診察を行うため医師と二人だけの静かな個室で、約30分かけて、診察します。

治療

病状に適した外来を紹介または、予約します。

実際に、春日井市民病院で女性専用外来を担当している渡部啓子先生（内科医）にお話をうかがいました。

Q. どんな患者さんが多いですか？

A

30代～40代の働きながら結婚をし、子どもを持った女性が多いですね。みなさん、毎日をととても忙しく、たえず緊張しながら過ごしてみえます。力を抜けるところがなく、知らず知らずのうちに頑張ってしまうんですね。

Q. どんな悩みが多いですか？

A

肩こりや腰痛、不安感やめまい、吐き気など多岐にわたっています。中には、男性医師の対応に傷ついて…といった方もみえました。このうち本当に薬物治療の必要がある人は、1割程度です。

Q. 患者の感想は？

A

アンケート調査によると「じっくりと話を聞いてもらえる」「的確なアドバイスがもらえる」など評判はいいようです。

Q. 最後に、読者の皆さんにメッセージをお願いします。

A

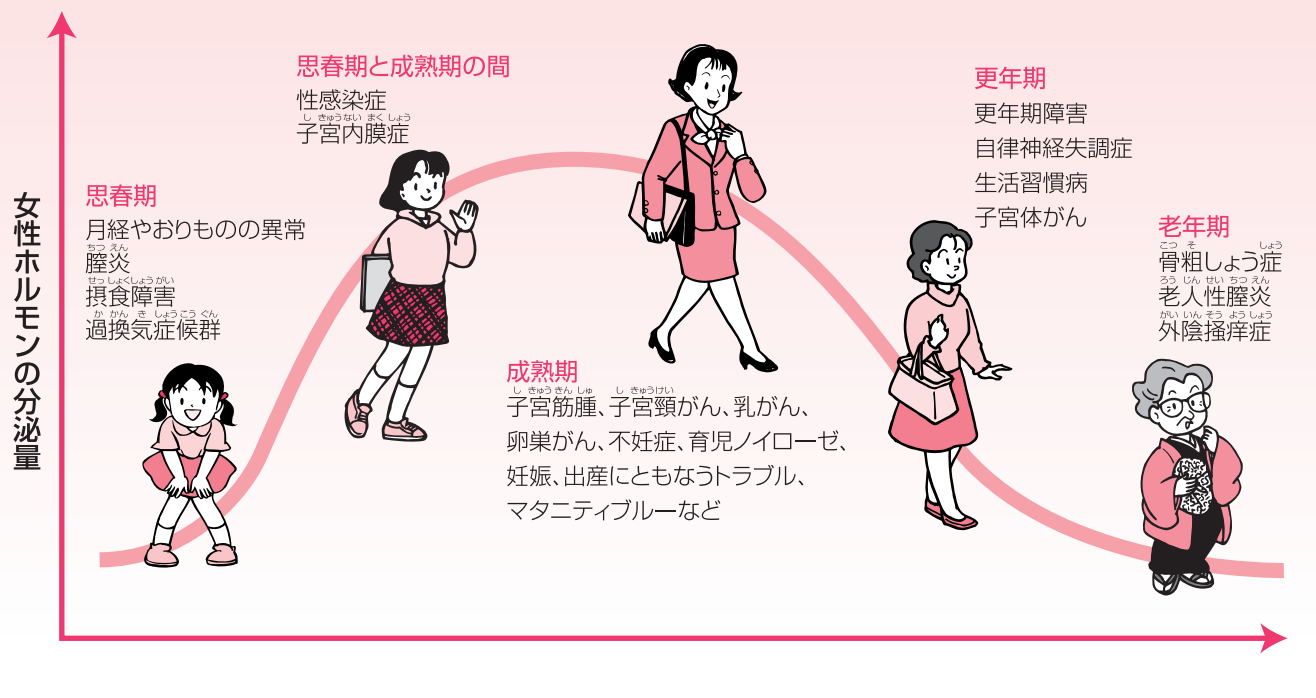
からだところに異常を感じたら、ひとりで抱え込まないで、気軽に相談しましょう。



女性のライフサイクル

近年、女性の生き方が多様化し、ライフスタイルも変化しています。女性の活躍する場が増えたことで、新たなストレスも発生し、女性のからだと健康に大きな影響を与えています。

充実した生活を送るためには、からだもこころも健康であることが求められます。自分のからだについて、正しい知識を持ち、からだからのサインを見逃さないようにしたいですね。また、パートナーである男性にも女性のデリケートなからだところを理解してもらい、より良い関係を築いていきたいですね。



(女性の一生と女性ホルモンの分泌量)

思春期（8～18歳ごろ）

女性ホルモンが少しずつ分泌され、皮下脂肪が増え、女性らしい丸みをおびたからだになります。初経を迎え、妊娠が可能になります。これを第二性徴といいます。

成熟期（18歳～40代半ば）

女性ホルモンの分泌も順調になり、心身ともにもっとも安定しています。しかし、女性は家事や育児、さらに仕事も完璧にこなそうとして心身の不調を招くことがあります。からだからのサインに注意しましょう。

更年期（40代半ば～50代後半）

女性ホルモンの分泌が少なくなります。その影響で心身にさまざまな症状がおこる、いわゆる更年期障害があらわれます。

老齢期（60歳ごろ～）

からだは老いていき、病気にかかりやすくなります。からだの機能は衰えていきますが、脳や神経は急激には衰えません。判断力や創造力に磨きをかけましょう。

特集 2

Haruka

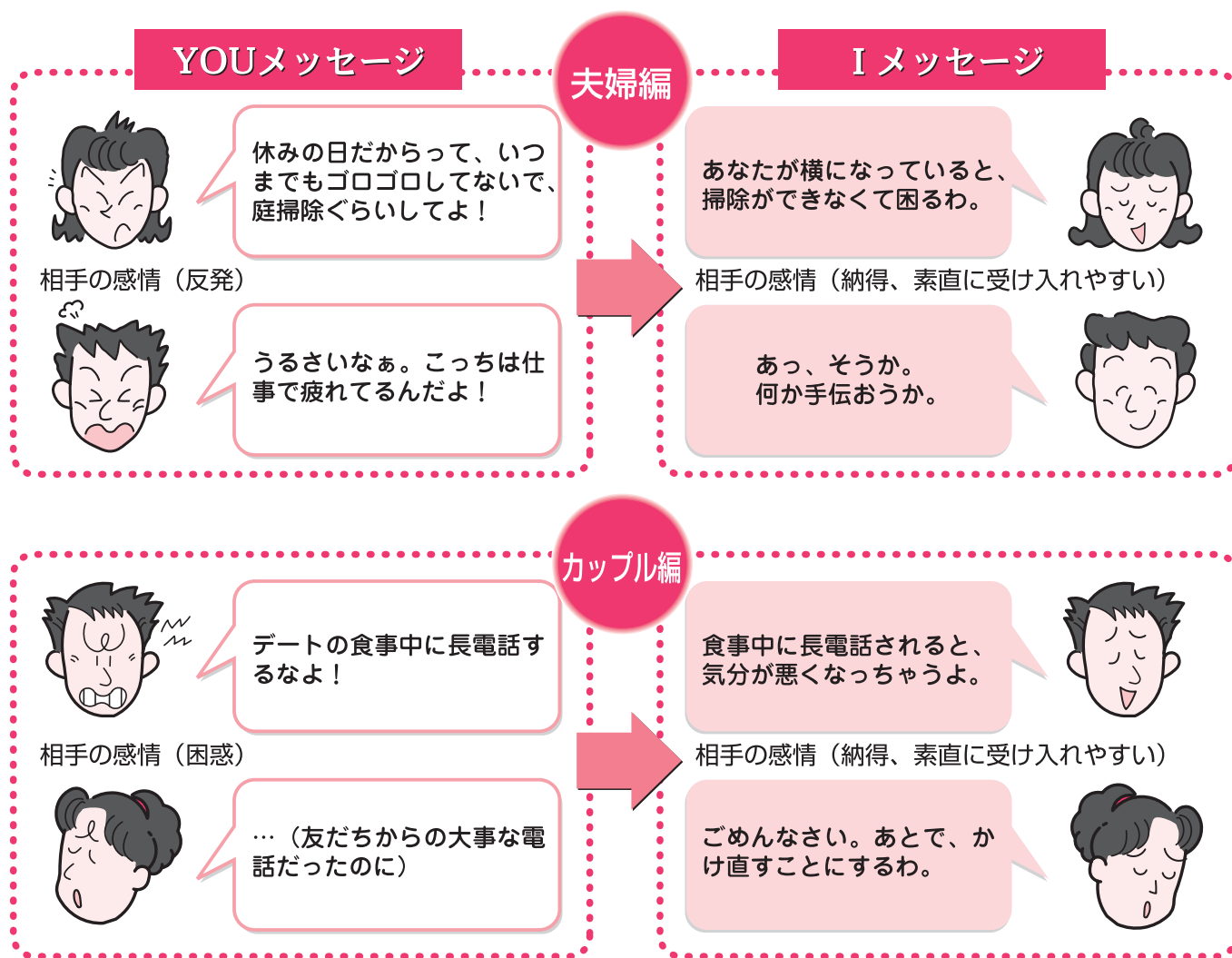
言葉と人間関係

～アイ(I)メッセージで伝える～

男性も女性も性別や地位、役割にとらわれず、お互いの思いを対等に伝え合い、認め合うことは「男女共同参画」のキーワードです。

家庭内、職場内、地域において「言わなくてもわかるだろう」「こうするのが当たり前」「昔からこうだった」といったことはありませんか。これでは、「相手のことがわからない」「自分のことがわかってもらえない」という状態が起こり、お互いのより良い関係を築くのは難しくなってしまいます。

そこで、円滑なコミュニケーション方法の一つとして、自分の言葉で伝える「アイ(I)メッセージ」という表現方法をご紹介します。



この方法は、相手を責めたり、非難したり、行動を変えさせようと指示をするのではなく、「私」を主語として、相手の言動によって自分がどう感じたのか、相手に何をわかって欲しいのかを率直に伝えることができます。

「言葉によって相手を深く傷つける」ことも暴力です。

自分も相手もお互いに成長しあえ、幸せな気持ちでいられる人間関係を築きませんか？

トピックス

DVセミナーを開催しました

DV被害者や被害者の関係者が、加害者に殺害されるという悲惨なニュースが後を絶ちません。このような悲しい事件が起こらないよう、DVについて、正しい知識を身につけてもらうため、DVセミナーを開催しました。

11/18 中部大学

講師：春日井市DV相談員

教職課程2年生82名を対象に実施しました。将来、教育の現場に携わる者として、ロールプレイを交えながら、DVの認識を深めるとともに、自分を見つめなおす機会になりました。

DVで女性がいろいろな被害に遭っていることは知っていたが、講義を受けて改めてDVは絶対にやってはいけないと思った。大切な人のことは、ずっと大切にしないとけないと思った。

学生の
声

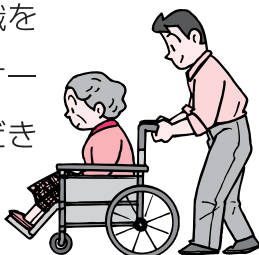


暴力は2人だけの問題ではなく、子どもにも大きな影響を与えていると思います。子どもは次の世代にもつながっていて暴力の記憶も次につながるという悪循環になってしまう。子どものためにも暴力は許せません！

1/15 にこにこヘルパー

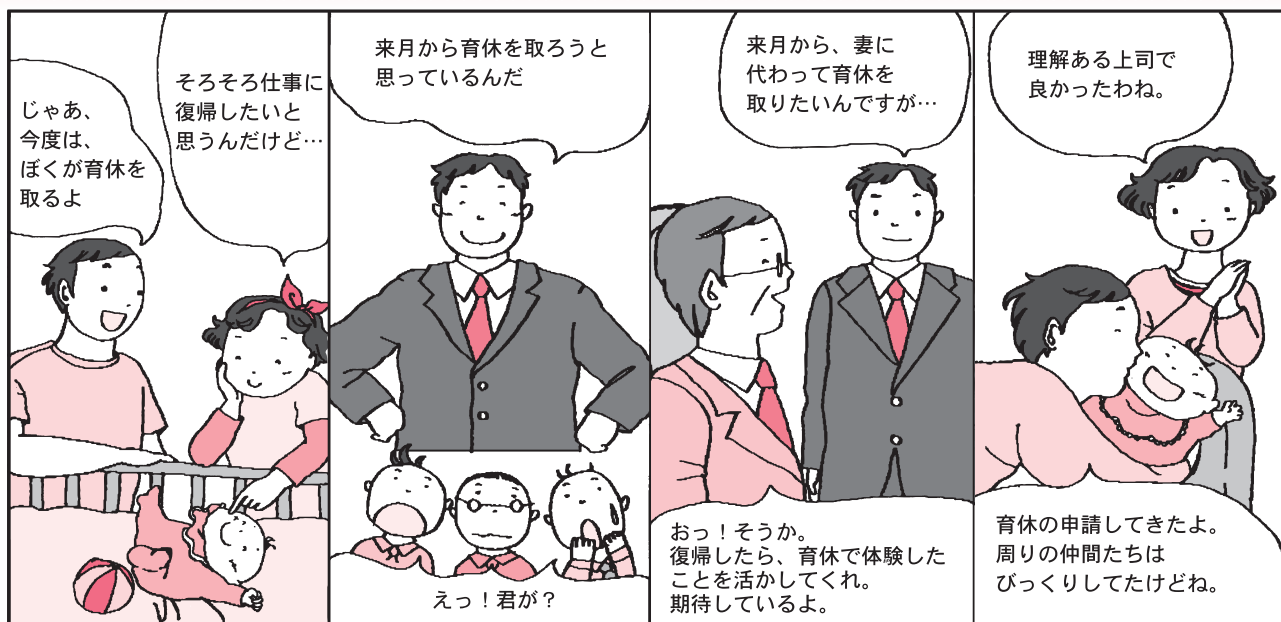
講師：春日井市DV相談員

地域福祉事業に携わるにこにこヘルパー32名の皆さんに、DVやセクハラについて、基本的な知識を身につけてもらうとともに、コミュニケーションを円滑にする方法を学んでいただきました。



平成21年度はDVセミナーを12回開催しました。今後も、様々な人を対象に行っていきます。

なんでだろう？コーナー



昨年の7月に、育児・介護休業法が改正され、父親も子育てができる働き方の実現に向けた内容（パパ・ママ育休プラスや短時間勤務制度の導入など）になりました。

この制度を利用するには、周りの人の理解や協力が必要となります。その人にあった働き方ができるような社会づくりが大切ですね。

相談窓口から

Aさんの事例

付き合っているときから暴力がありました。「おまえが怒らせるから」と言われていたし、原因は私にもあるかなとも思っていました。妊娠したことがわかった時、不安がないわけではなかったけれど、喜んでいる彼を見て、結婚すれば変わってくれるだろう。そう思って、一緒に住み始めました。妊娠中は殴られることはありませんでしたが、帰りが遅くなり、気遣いなどは感じられませんでした。子どもが生まれたら、彼に気を使うこともできなくなり、子育てで頭がいっぱいになりました。そんな時に、夕飯のおかずのことからケンカになり「いいかげんにしろ！俺は仕事をしてるんだぞ！」と怒り、殴られました。

相談員から

涙を流され、「親にも言えなくて…」と、話された相談者。迷ったり、悩んだり、なかなかひとりでは結論が出せないことは誰にでもあります。そんな時、あなたの感じた「不安」「怖さ」などを大切に受け止め、安心できる時間でじっくり気持ちを整理することも、DV相談で行っています。Aさんの気持ちをお聴きしながら、今後の生活の選択肢をご一緒に考えていきました。

新聞やニュースでも、DV被害者女性自身に暴力の被害を受けていながら、彼に尽くしたいという心理がうかがえるブログが紹介されていました。加害者からの、精神的暴力による、コントロール性の強さがうかがわれます。

面接相談では、被害者が知らず知らずのうちに受けている、暴力の影響についても、一緒に見つめ考えていきます。

DVのない男女共同参画社会を目指し、相談者の声に耳を傾けます。お気軽に、ご相談ください。

※いくつかの相談内容を組み合わせて作成しています。

■主な相談窓口

- 春日井市男女共同参画課DV相談 ☎85-6296
午前9時～正午 午後1時～午後4時（土・日・祝・年末年始は休み）
- 春日井市オンラインDVほっと相談 <http://www.soudan-kasugai.jp/>



携帯電話でのオンライン
DVほっと相談は、こち
らからでもできます。



- レディヤンかすがい レディヤン お問合せ：☎85-4188

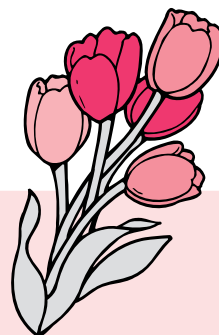
	曜 日	時 間	電 話
女 性 の 悩 み 相 談	火曜日（第2・4）	10：00～12：00 13：00～15：30	☎85-7871
	火曜日（第1・3・5） 水～金曜日	13：00～16：30	
	土曜日（第2・4）	10：00～12：00	
女性のための法律相談 （面接のみで、予約制）	土曜日（第1・3）	10：00～12：00	☎85-4188 予約受付 （9:00～17:00）

注）毎週月曜日と年末年始は休館日です。

第2・4火曜日の相談は、月曜日及び火曜日が祝日の場合休みとなり、第1・3・5火曜日の相談は、月曜日が祝日の場合休みとなります。

水～土曜日の相談は、祝日も実施します。 **相談員は、全て女性です。**

- 愛知県女性相談センター（女性悩みごと電話相談）☎052-913-3300
午前9時～午後9時（土・日・祝・年末年始は休み）
- 愛知県春日井警察署 ☎56-0110（代表）



随時募集しています！

- ★取り上げてほしいテーマ ★表紙（絵でも写真でもOKです）
 - ★男女共同参画に関するエッセー ★感想、ご意見 など
- みなさんの声をどんどんお寄せくださいね！

〔広告〕 広告の内容に関するお問い合わせは、直接広告主にお願いします。

ホットなサービスをお届けする

★ **大垣共立銀行**

KP 春日井印刷株式会社
Kasugai Printing Co., Ltd.
〒486-0851 愛知県春日井市篠木町5丁目1313番地
TEL **0568-81-3183** (代) FAX **0568-81-8822**
E-mail: info@kasugaiinsatu.com
URL: <http://www.kasugaiinsatu.com/>

介護付有料老人ホーム **ベティさんの家 神領・高蔵寺**
（特定施設入居者生活介護）

自分が年を重ねたらここで生活したい。
そして『一生悔いのない人生だった』と
心から言える施設にしたい。

問い合わせ先 ☎ **0568-94-0070**

かすがい市男女共同参画情報紙『はるか』vol.25
2010年4月発行

企画・編集・発行 春日井市市民生活部男女共同参画課
〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44
TEL 0568-85-6152 FAX 0568-85-5522
Eメール danjo@city.kasugai.lg.jp